

記者発表資料 4枚

令和6年3月13日
福島県土木部河川整備課
福島県県中建設事務所

せんござわ
千五沢ダム再開発事業の竣工式を行います

福島県では、石川町の洪水被害を軽減するため、農業用ダムである千五沢ダムに洪水調節機能を付加する目的で、平成26年10月から進めてきた洪水吐きの改造工事が完了します。

つきましては、下記のとおり千五沢ダム再開発事業竣工式を執り行いますのでお知らせします。

【竣工式について】

- 日時 令和6年3月25日（月） 午前10時00分から
- 場所 千五沢ダムダムサイト（石川郡石川町大字母畑地内）
（別紙1「会場案内図」参照）
- 主催 福島県
- 式典概要 テープカット、くす玉開披など
- 事業概要 別紙2「事業概要」参照
- その他
 - 一般の方のご来場はできません。
 - 取材をご希望の方は、当日、午前9時30分～9時45分までに受付いただくようお願いいたします。なお、駐車場確保のため、3月22日（金）16時までに県中建設事務所 佐藤（024-935-1402）へ連絡願います。

【問い合わせ先】

土木部河川整備課 主幹 やまのべ ゆたか 山野辺 豊
電話 024-521-7485（直通）
県中建設事務所 主幹兼事業部長 きとう ふみひろ 佐藤 文裕
電話 024-935-1402（直通）

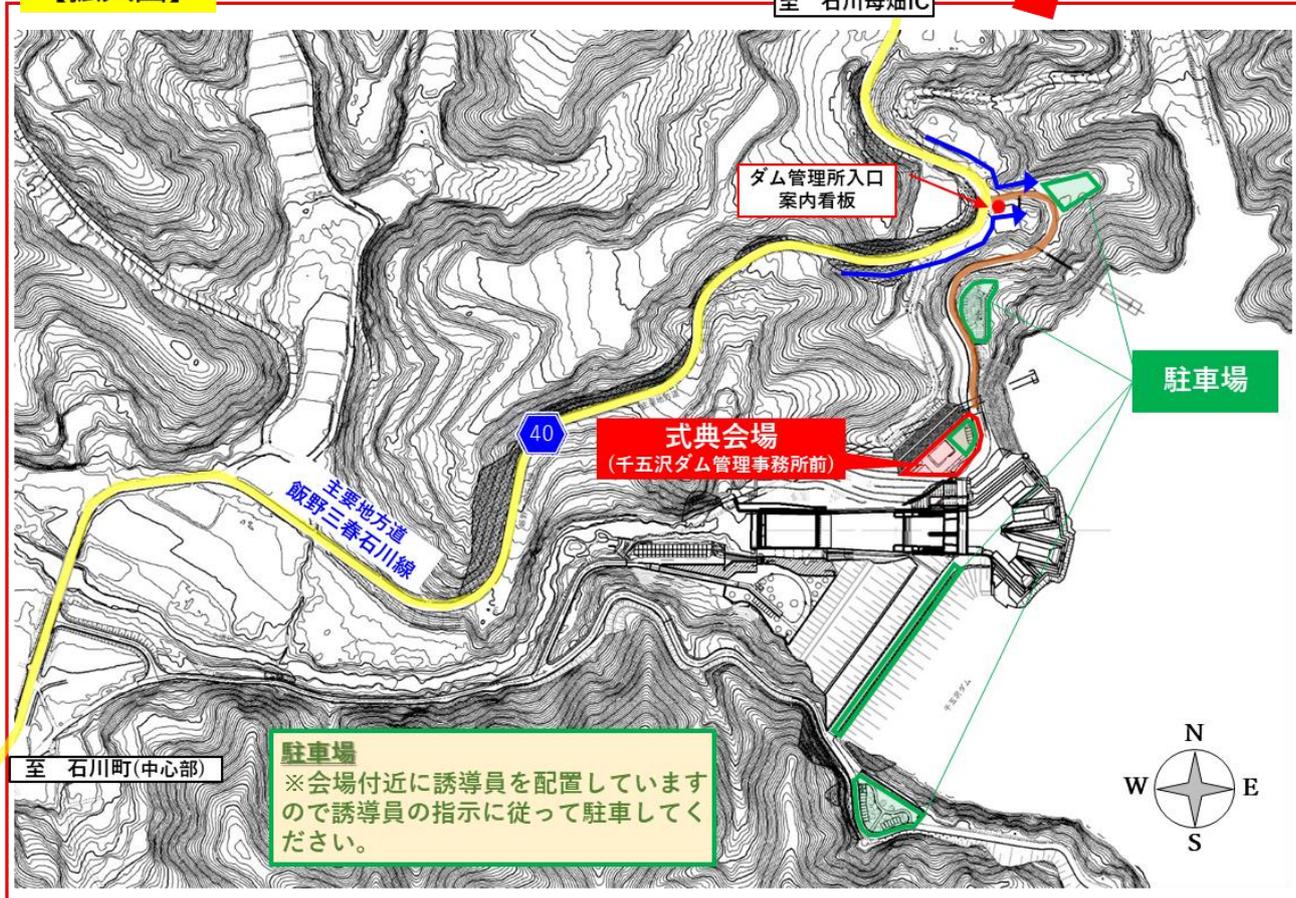
別紙1 (1/1)

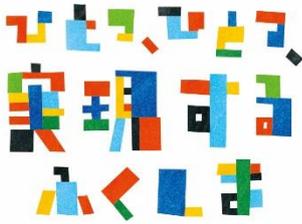
千五沢ダム 会場案内図

【広域図】



【拡大図】



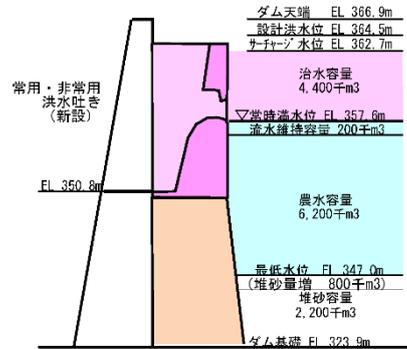
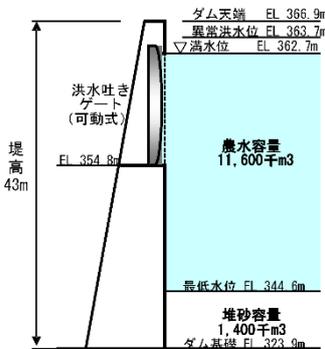


別紙2 (1/2) 千五沢ダム再開発事業の概要について

1 事業概要

1) 事業に至る経緯

- ・ 国営母畑開拓建設事業のかんがい専用ダムとして昭和50年3月に完成
 河川名：一級河川阿武隈川水系北須川 場所：石川郡石川町大字母畑地内
 ダム型式：中央コアゾーン型アースダム
 堤高：43.0m 堤頂長：176.5m 総貯水容量：13,000千m³
- ・ 農業情勢の変化によりかんがい面積が半減し、空容量が発生
- ・ 空容量を治水等に活用→有効貯水容量 V=11,600 千 m³ のうち V=5,400 千 m³ を治水等に活用（容量内訳＝治水容量 4,400 千 m³+不特定容量 200 千 m³+堆砂容量 800 千 m³）

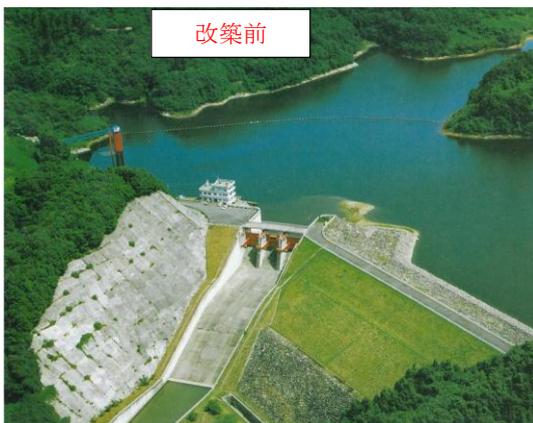


昭和50年にかんがい専用ダムとして整備。洪水調節機能がないため、度々洪水被害が発生。

千五沢ダム再開発事業により、既存の洪水吐を改築し、ダムに洪水調節機能を付加。

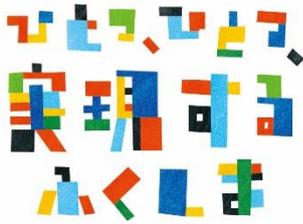
2) 事業内容

- ①洪水吐きの改築 ②ダム管理所の移転 ③水位低下設備の新設 ④管理設備の更新、移設



2 事業費及び事業期間

総事業費：約145億円（平成8年度～平成20年度の今出川総合開発事業も含む）
 事業期間：平成7年度～令和5年度



別紙2 (2/2)

3 整備効果

- ①洪水調節（ダム地点計画高水流量 $250\text{m}^3/\text{s}$ のうち $130\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節）
- ②正常流量（既得取水の安定化、河川環境の保全等）

4 事業経過

- 平成8～9年度 福島県が空容量を治水容量として買い取り
- 平成21年度 千五沢ダム再開発事業として採択
- 平成22年度 全体計画認可
- 平成25年度 全体計画変更認可
- 平成26年度 洪水吐き改築工事着工
- 平成30年度 全体計画変更認可
- 令和元年度 水位低下設備完成
- 令和3年度 洪水吐き流入部（ラビリンス型式）コンクリート打設完了
- 令和5年度 試験湛水実施 事業竣工

5 状況写真



右岸上流から（令和6年1月1日・洪水時最高水位到達）



下流から（令和6年3月・事業竣工）